

# パワードライブ式便器 (床排水)



このQRコードは  
メーカー管理用です。

YBC-G30S系  
YHBC-G30S系

### 取付業者さまへ

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客さまに必ず本書と取扱説明書や保証書（ヒーター付便器の場合）をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

## 安全のために守ってください！

便器を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

### 用語の説明

**警告** . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

**注意** . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ . . . 「注意しなさい！」  
(必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

⊘ . . . 「してはいけません！」  
(一般的な禁止記号です。)

❗ . . . 「指示通りにしなさい！」  
(一般的な行動指示記号です。)

## ⚠ 警告

⊘ **水かけ禁止** 本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。  
※ 感電・火災の恐れがあります。(100V 電源使用の場合)

⊘ **分解禁止** 絶対に分解や改造は行わないでください。  
※ 感電・火災・ケガの原因になります。(100V 電源使用の場合)

⊘ **ぬれ手禁止** 濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。  
※ 感電の原因になります。(100V 電源使用の場合)

⊘ **水場使用禁止** バスルームなど、湿気が多い場所には、設置しないでください。  
※ 感電・火災の原因となります。(100V 電源使用の場合)

⊘ **禁止** 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。  
※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。(100V 電源使用の場合)

⊘ **禁止** ガタついているコンセントは使用しないでください。  
※ 感電・火災の原因になります。(100V 電源使用の場合)

⊘ **禁止** ● AC100V 以外では使用しないでください。  
● タコ足配線など、定格をこえる使い方はしないでください。  
※ 火災の原因となります。(100V 電源使用の場合)

❗ **指示実行** 電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。  
※ 感電・火災の原因になります。(100V 電源使用の場合)

## ⚠ 注意

❗ **指示実行** 陶器は割れものです。  
● 施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。  
● 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。  
※ 破損部でケガをしたり、漏水により室内浸水の原因になります。

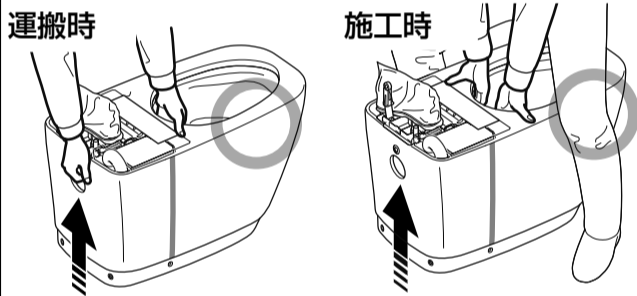
❗ **指示実行** 止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。  
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。

❗ **指示実行** お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。  
※ 凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。

## 施工前のご確認

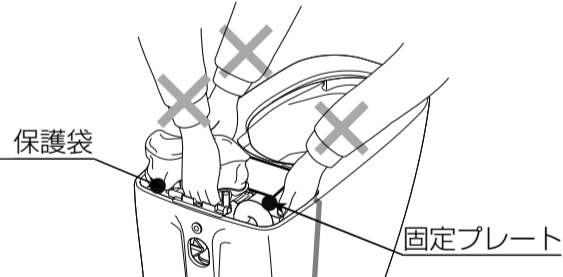
### 開梱時の注意点

❗ 下記のイラストにしたがって便器を持つこと。



⊘ **便器本体の固定プレートを持たず、指示があるまで保護袋も取り外さないでください。**

※ 固定プレートの変形により、正しく施工できなくなったり、異物が入り、動作不良や漏水の原因になることがあります。



### 部品の確認 (梱包内容を確認してください。品番によって同梱される部材が変わります。)

便器	排水ソケット	施工説セット
<p>便器：1台 (ヒーター仕様便器の場合) ヒーターコントローラーが付属しています。</p>	<p>排水ソケット：1個</p>	<p>施工型紙：1枚 施工説明書：1部</p>
固定用木ねじ 類	ビスキャップ付木ねじ	固定部材類
<p>固定用木ねじ：6本 (Φ6×40) ワッシャー：6個 (AY仕様の場合) AYボルト (AY-23W：6本) が同梱されます。</p>	<p>化粧キャップ：2個 便器固定用木ねじ：2本</p>	<p>横固定部材：2個 固定用粘着材：1個 床固定部材：1個</p>

### 使用する水について

● 機能部に同梱している施工説明書に記載の水質・水圧条件で 接続ください。

### 止水栓について

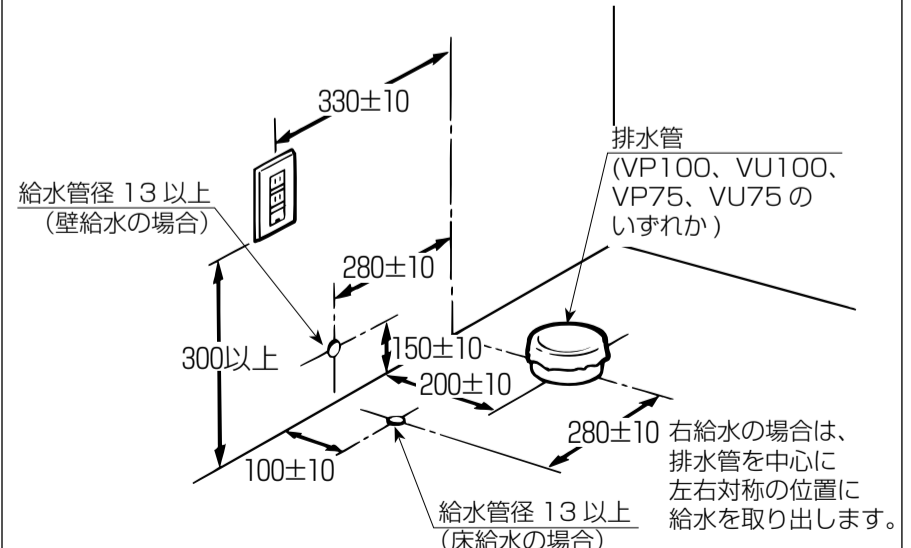
- 機能部に同梱されている止水栓を使用します。
- 標準施工図にしたがって、給水管を取り出してください。
- 便器を取り付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ (LF-7T を推奨) などカバーをしてください。  
※ 通水時に異物が入り、止水不良となる恐れがあります。
- 止水栓の向きは、接続時にホースが折れないように調整してください。
- 給水管はぐらつかないように、しっかりと固定してください。  
※ 漏水、給水管の破損の原因になります。

### 排水芯について

- 排水芯 200mm 専用ソケットです。
- 鉛管には対応できません。
- 排水位置が指定の位置であることを確認してください。  
※ 排水管が壁寄りに取り出されている場合は、機能部と壁が干渉して施工できない恐れがあります。
- 便器を取り付けるまで、異物が混入しないように、排水管にはビニール袋などでカバーをしてください。  
※ 異物が入り、洗浄不良となる恐れがあります。

### 設置場所の確認

※ コンセントの詳細は、機能部の施工説明書の「電源の確認」を参照ください。



❗ **注意** ● 給水管、排水管の取出し位置は、図面寸法を守ってください。  
※ 誤って排水管を壁寄りに取り出した場合は、機能部と壁が干渉して施工できない恐れがあります。

## 施工手順

は本書を、 は各種仕様商品の施工説明書に従って正しく取り付けてください。

### 1 止水栓の取付け

※機能部同梱の止水栓を使用。

### 2 排水管の切断

### 3 排水ソケットの接着

### 4 固定用部材の位置決めと固定

### 5 便器の取付け

### 6 (ヒーター付便器の場合) ヒーターコントローラーの取付け

### 7 機能部の取付け・試運転

## 施工のポイント



機能部施工するまで外さない。

保護袋

固定用プレート

(便器側に組付け済)

目印シール  
型紙

固定用粘着材

#### Point 5

取付け時は目印シールを型紙で位置合わせして施工する  
= 5 便器の取付け

#### Point 3

切粉等のゴミが付着しないようにしてください。付着している場合はきれいに取り除いてください。  
※便器の固定不良の原因になります。  
= 5 便器の取付け

#### Point 4

気温が低い場合、固定用粘着材が固くなることがあります。  
①開梱時にあらかじめズボンのポケットに入れて温める。  
② 20 ~ 30℃のぬるま湯で温める。  
など柔らかくしてからご使用ください。  
※ぬるま湯には直接入れず、包装ごとビニール袋に入れて暖めてください。  
= 5 便器の取付け

排水ソケット

床固定部材

#### Point 1

塩ビ用接着剤は必ず排水ソケット・排水管 共に塗布すること。  
= 3 排水ソケットの接着

#### Point 2

施工型紙を使用して位置決めすること。  
= 4 固定用部材の位置決めと固定

#### Point 3

切粉等のゴミが付着しないようにしてください。付着している場合はきれいに取り除いてください。  
※便器の固定不良の原因になります。  
= 4 固定用部材の位置決めと固定

#### Point 6

固定用粘着材を便器に確実に圧着するため、施工完了後 24 時間は便器を上方向に引張るなどの無理な力をかけないでください。  
※十分な固定強度が得られなくなる恐れがあります。  
= 便器の取付け後のご確認

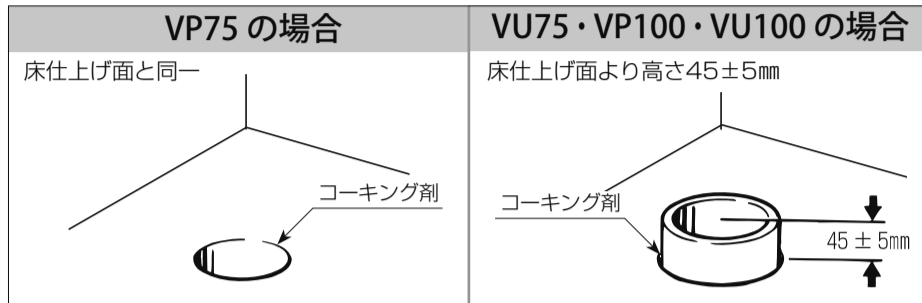
# 施工方法

## 1 止水栓の取付け

機能部同梱の止水栓を機能部の施工説明書を読んで、施工してください。

## 2 排水管の切断

排水塩ビ管を切断する。  
排水管口と床が水平になるように切断します。

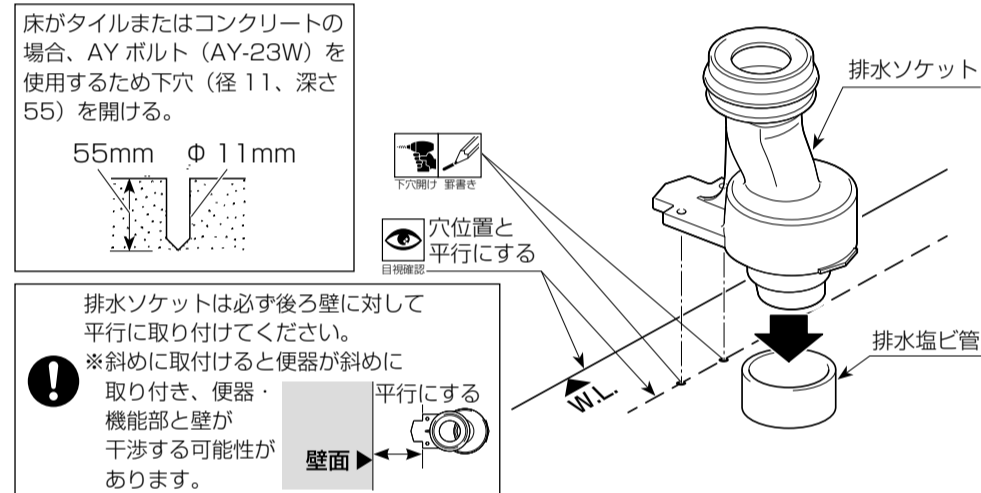


### 注意

- 排水管は、切断面が水平になるように切断してください。  
※ 漏水や臭気発生の原因になります。
- 排水管と床に隙間がある場合、コーキング剤を塗布してください。  
※ 漏水や結露の原因になります。

## 3 排水ソケットの接着

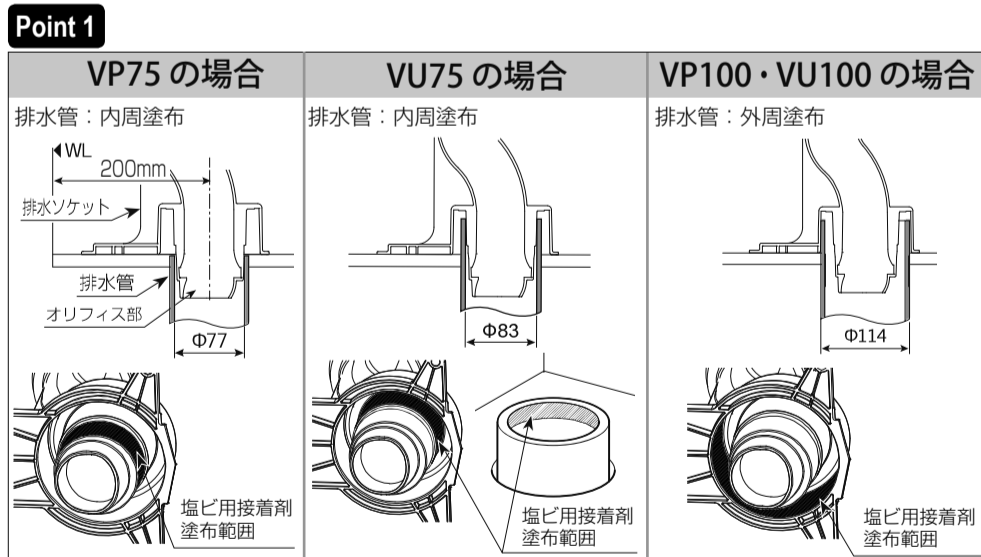
(1) 排水ソケットを仮置きし、けがき・下穴をあける。



### 注意

- 排水ソケットのオリフィス部は切断しないでください。  
※ オリフィス部を切断すると、便器洗浄不良の原因になります。

(2) 排水塩ビ管と排水ソケットを接着する。  
排水塩ビ管と排水ソケットの両方に塩ビ管用接着剤を塗り、接着します。

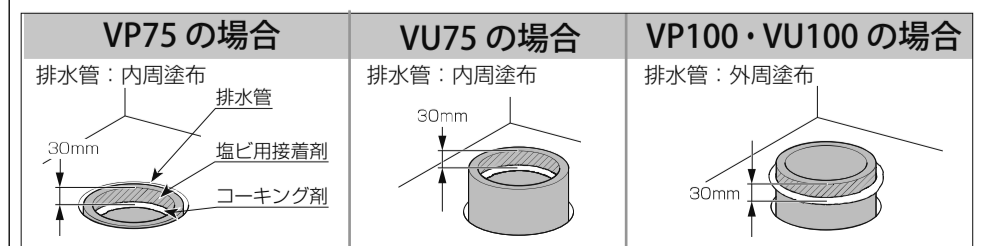


### 注意

- 排水塩ビ管と排水ソケットの密着部は、接着剤を塗る前にきれいにし、確実に接着を行ってください。  
※ 接着が不十分の場合、漏水、臭気発生の原因になります。

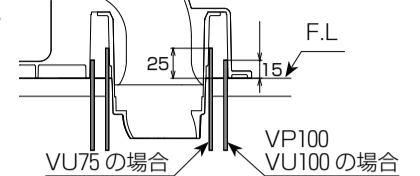
<すき間、ガタがある場合の接着例>

- ・コーキング剤を使用してください
- ・塩ビ用接着剤を多めに使用してください

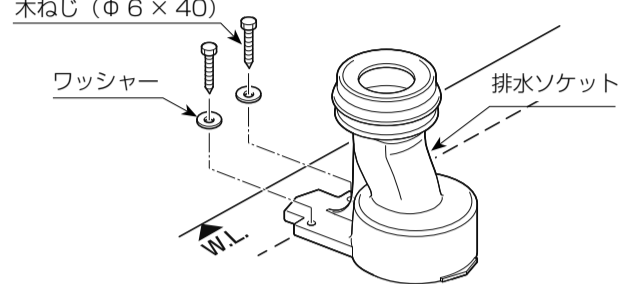


### 注意

- 排水ソケットがはまらない場合は、排水管の取出し高さを変更してください。  
※ はまらないと、施工不良の原因になります。
- ・ VU75 の場合：25 mm
  - ・ VP/VU100 の場合：15 mm
  - ・ VP75 の場合：高さ調整できません。

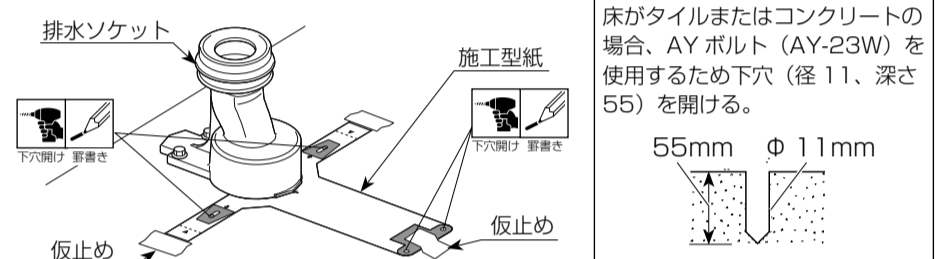


(3) 排水ソケットを床に固定する。  
木ねじ・ワッシャー または AY ボルトのねじを使用し固定します。

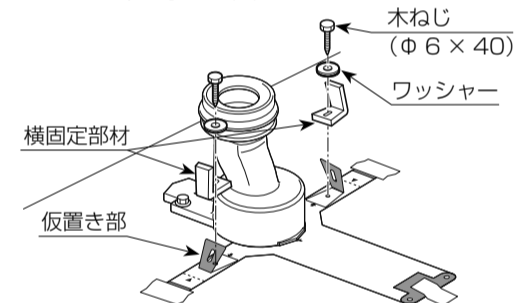


## 4 固定用部材の位置決めと固定

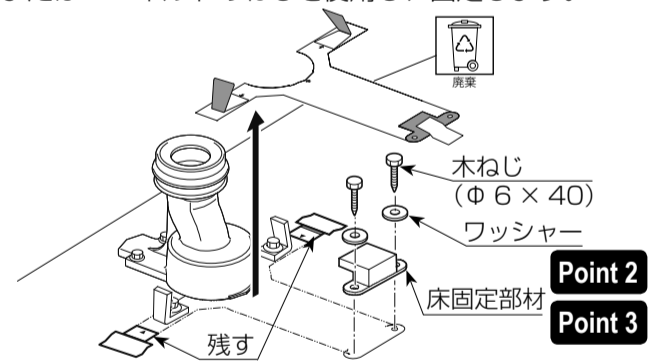
(1) 施工型紙を仮止めし、けがき・下穴をあける。  
排水ソケットの先端に合わせて施工型紙をマスキングテープ等で仮止めて、けがきしてから下穴をあけます。



(2) 施工型紙の仮置き部を開き、部材を置き床に固定する。  
横固定部材仮置き部を開き、横固定部材を置き、木ねじ・ワッシャーまたは AY ボルトのねじを使用し、固定します。

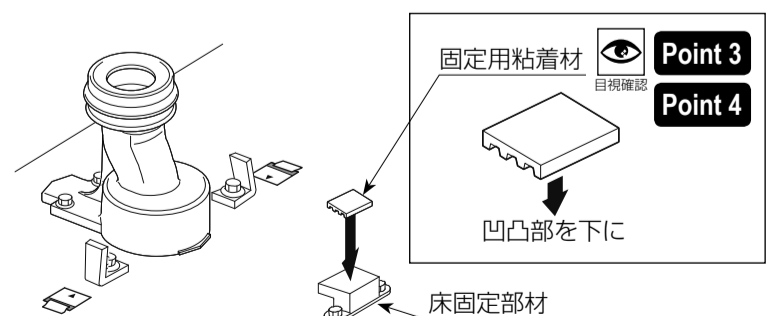


(3) 施工型紙の一部を切り取り、床固定部材を床に固定する。  
仮止めた施工型紙の両端以外を切り取り、床固定部材を木ねじ・ワッシャーまたは AY ボルトのねじを使用し、固定します。



## 5 便器の取付け

(1) 固定用粘着材を床固定部材に置く。  
固定用粘着材は、凹凸部を下に、床固定部材の中心に来るよう置きます。



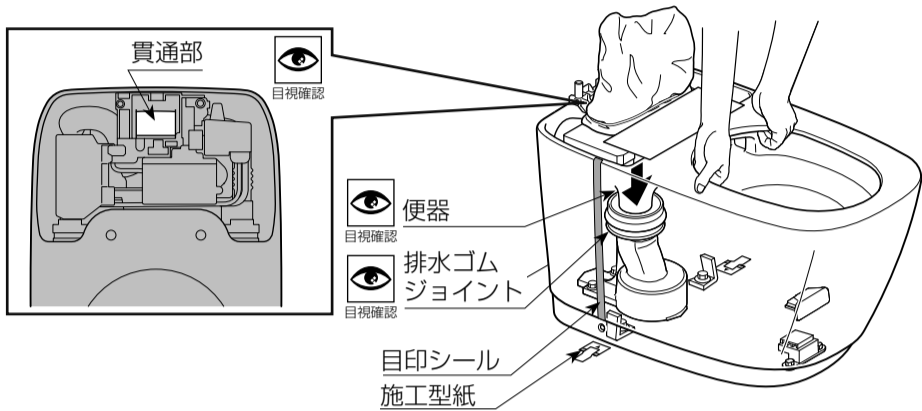
## 5 便器の取付け

### ⚠️ 注意

- Point 3** ● 固定部に水分や切粉等のゴミが付かないようにしてください。ゴミが付着している場合はきれいに取り除いてください。  
※ 便器の固定不良の原因になります。
- Point 4** ● 固定粘着材をぬるま湯で柔らかくする場合は、直接入れないで梱包ごとビニール袋に入れて暖めてください。  
※ 便器の固定不良の原因になります。
- 防振シートを使用の場合は、固定用粘着材を取付ける前に、床排水用ソケットスペーサーの施工説明書を参照して施工してください。  
※ 便器の固定不良の原因になります。

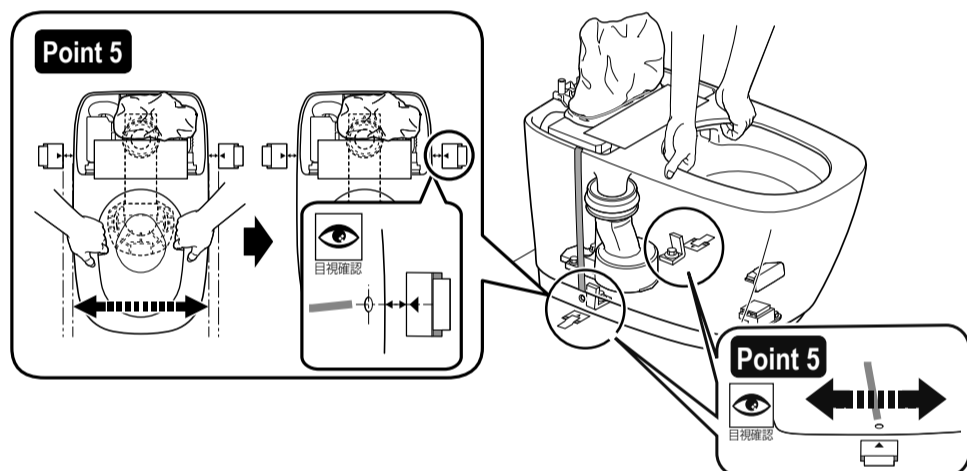
(2) 便器と排水ソケットを接続し、固定粘着材を圧着する。

① 便器を持ち上げ、便器後方の貫通部・便器側面の目印シールと施工型紙の目印で位置を確認し、便器を排水ソケットに接続します。



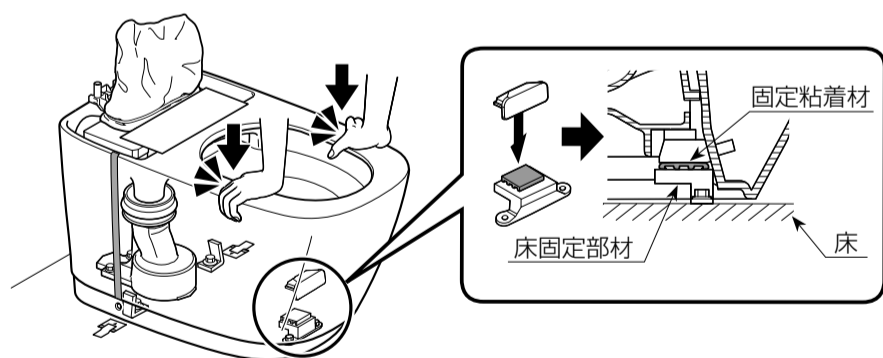
② 施工型紙で左右・前後の位置を合わせる。

目印シールを施工型紙の位置合わせ部に合せ、便器が正面を向くように位置を調節します。



③ 便器と床固定部材を固定粘着材で圧着させる。

便器をゆっくり下ろしてから便器前側を押し下げ、床と便器の隙間がなくなるまで固定粘着材を潰します。



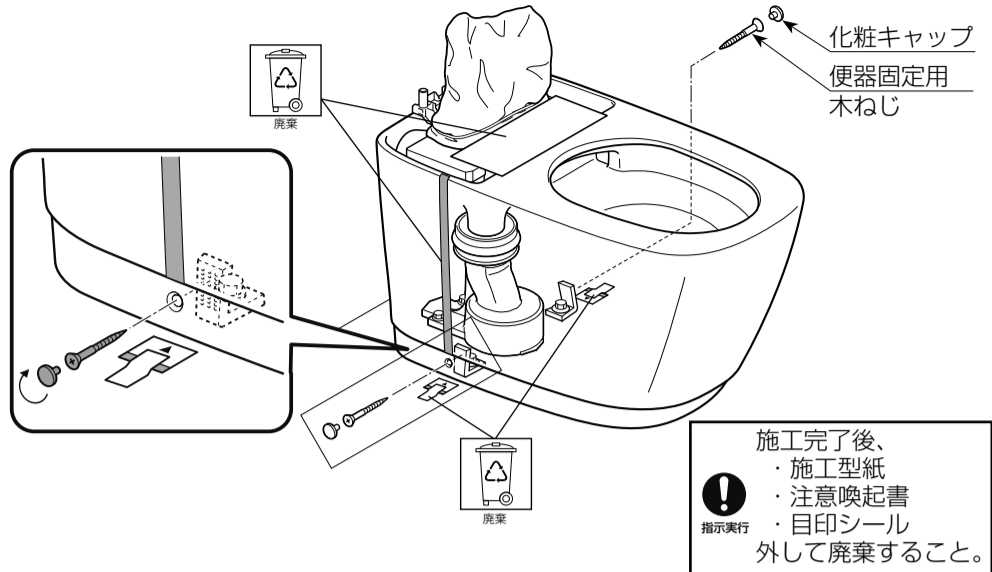
### ⚠️ 注意

- 機能部を取り付けるまでは、保護袋を外さないでください。  
※ 保護部周辺をキズつけたり、ゴミなどの異物が入ると漏水する可能性があります。
- 便器を持ち上げる時は、リムの内側を持って持ち上げてください。  
※ 部品が外れや破損してケガしたり、腰を痛めたりする可能性があります。
- 便器の台座を排水ソケットの上に乗せないでください。  
※ ソケットが破損したり、パッキンを傷めて漏水する恐れがあります。
- 便器排水口は排水ゴムジョイントの中心にくるように、便器の前後左右がずれないようにしてください。  
※ 汚物、トイレトーパーなどのつまりの原因になります。



(3) 便器を木ねじで固定、化粧キャップをつける。

便器側面を便器固定用木ねじで固定し、化粧キャップを時計回りに回して取り付けます。



### ⚠️ 注意

- 便器固定用木ねじは、左右交互に少しずつ締め、締め過ぎないようにしてください。  
※ 便器の固定不良や破損の原因になります。
- 化粧キャップはねじ固定構造となっています。化粧キャップは必ず回して着脱してください。  
※ 逆に回したり、無理にひきはがした場合、破損の恐れがあります。

## 6 (ヒーター付便器の場合) ヒーターコントローラーの取付け

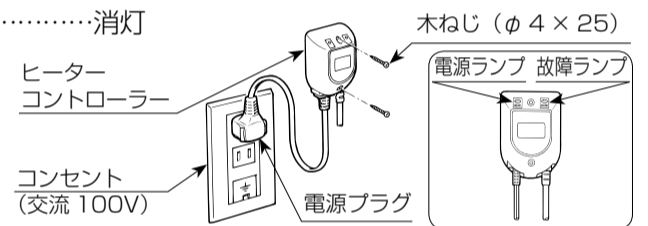
(1) ヒーターコントローラーの取付位置を決め、固定する。

電源コードの長さ (1.5 m) を考慮して、木ねじで固定します。

(2) 電源をつけ、ランプの点灯・消灯を確認する。

電源プラグをコンセント (交流 100 V) に差し込み、確認。

- ・電源ランプ (オレンジ色) ……点灯
- ・故障ランプ (赤色) ……………消灯



## 7 機能部の取付け・試運転

機能部の施工説明書を読んで、施工してください。

### 便器の取付け後のご確認

- 陶器表面にキズなどが無いことを確認してください。スジ状の線がついた場合には、市販のメラミンスポンジに十分水を含ませ、擦り洗いをして除去してください。それでも取れない場合は、トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、1時間程度付着した部分にあてて放置した後、布で拭き取ってください。その後、中性洗剤で洗い流してください。  
※ 洗剤の気化したガスが故障・破損する原因になるので、便座・便フタは開けたまま、十分に換気をした状態で行ってください。
- 施工完了後は、必ず試運転をして「漏水検査、水漏れ検査」を行ってください。検査内容は、機能部の施工説明書を確認ください。  
※ 取付けが不十分な場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
- 施工完了からお客さまにお渡しするまでに、凍結の恐れがある場合は、水栓や給水ホースから水を抜いてください。
- 施工完了からしばらく長期間にわたり通水をしない場合は、トラップに水を入れておいてください。  
※ 排水管からの臭気ガスにより、商品の内部金具がさびる恐れがあります。
- 給水管接続及び通水検査、水漏れ点検は必ず水道工事店様が行ってください。

**Point 6** ● 固定用粘着材を便器に確実に圧着するため、施工完了後 24 時間は便器を上方向に引張るなどの無理な力をかけないでください。  
※ 十分な固定強度が得られなくなる恐れがあります。

- 不要部材を処分する場合は、必ず公的認可を受けている業者に依頼してください。
- 施工終了後 本書を取扱説明書とともに、お客さまにお渡しください。